

■コメント

1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は41件となりました。特に8月中旬以降多発しており、9月も11件報告されています。41件の血清型別の内訳は、O157:24件、O26:7件、O121:6件、その他:4件となっています。

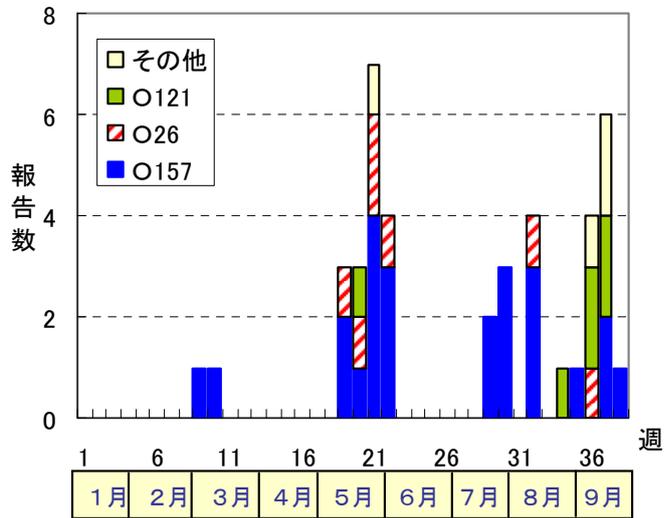
予防には、手洗いを励行しましょう。特に、トイレの後や、調理の前、食事の前には、石けんと流水でよく手を洗いましょう。

2. RSウイルス感染症

7人(定点当たり0.29人)報告されています。例年同時期と比べて多い状態が続いています。

年齢を問わず繰り返し感染しますが、年齢が低いほど重症化しやすく、肺炎や気管支炎を引き起こすことがあるため、乳幼児は注意しなければならぬ疾患です。

腸管出血性大腸菌感染症



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	-	-	0.64		ヘルパンギーナ	8	0.33	0.44	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.20		流行性耳下腺炎	32	1.33	0.68	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.58	0.67		RSウイルス感染症	7	0.29	0.07	
感染性胃腸炎	46	1.92	3.25	↘	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	15	0.63	0.48	↗	流行性角結膜炎	1	0.13	1.20	
手足口病	4	0.17	0.23		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	-	-	0.16		無菌性髄膜炎	2	0.29	-	
突発性発しん	9	0.38	0.71		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.31	
百日咳	1	0.04	0.10		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ↑(赤) ↓(青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗(黄) ↘(青) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↗(白) ↘(白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄(白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	3	177	女性(30歳代)・1人、男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	41	女性(10歳未満)・O157
5	ウイルス性肝炎	2	5	女性(30歳代)・B型、男性(50歳代)・C型
5	風しん	1	3	女性(10歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
			第34週	-	17	9	71	12	13	3	14	4	10	30	2	-	4	-	1	-	-
第35週	-	16	10	71	21	5	1	10	1	9	21	3	-	9	-	-	-	-	-	-	
第36週	-	11	12	73	15	12	1	15	1	9	40	2	-	8	-	-	-	1	-	-	
第37週	-	10	8	70	15	2	-	20	1	4	27	7	-	5	1	-	-	-	-	-	
第38週	-	3	14	46	15	4	-	9	1	8	32	7	-	1	-	2	2	-	-	-	
定点当り	広島市	第34週	-	0.71	0.38	2.96	0.50	0.54	0.13	0.58	0.17	0.42	1.25	0.08	-	0.50	-	0.14	-	-	-
第35週	-	0.67	0.42	2.96	0.88	0.21	0.04	0.42	0.04	0.38	0.88	0.13	-	1.13	-	-	-	-	-	-	
第36週	-	0.46	0.50	3.04	0.63	0.50	0.04	0.63	0.04	0.38	1.67	0.08	-	1.00	-	-	0.14	-	-	-	
第37週	-	0.42	0.33	2.92	0.63	0.08	-	0.83	0.04	0.17	1.13	0.29	-	0.63	0.14	-	-	-	-	-	
第38週	-	0.13	0.58	1.92	0.63	0.17	-	0.38	0.04	0.33	1.33	0.29	-	0.13	-	0.29	0.29	-	-	-	
全国	第36週	0.04	0.39	0.60	3.25	0.55	1.04	0.26	0.71	0.03	0.76	1.04	0.19	0.01	0.80	0.03	0.04	0.04	0.32	0.03	
第37週	0.05	0.34	0.65	3.18	0.49	0.89	0.24	0.67	0.03	0.57	1.06	0.25	0.01	0.86	0.02	0.04	0.04	0.37	0.03	0.03	

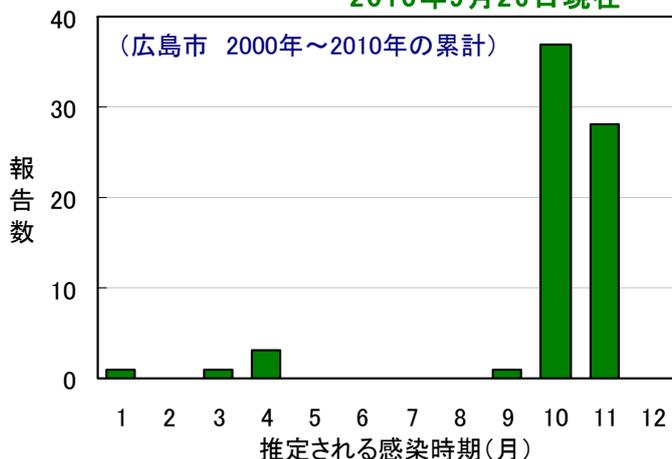
■新たに判明した病原体検出状況

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
流行性角結膜炎	57	女	2010/08/23	結膜擦過物	アデノウイルス53型
麻疹	1	女	2010/08/08	咽頭拭い液,尿,血液	コクサッキーウイルスA6型
その他の呼吸器疾患	11	男	2010/07/19	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるつつが虫病の感染月別報告数(2010年9月26日現在)

つつが虫病の感染月別報告数
2010年9月26日現在



つつが虫病に注意しましょう!

つつが虫病は、ツツガムシというダニの幼虫に刺されることによって感染する病気で、広島市では毎年秋から初冬にかけて多くなります。

今秋の報告はまだありませんが、山林や草むらに入るときは、長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用して、ツツガムシに刺されないよう注意が必要です。

(*注)左のグラフの月は2000年から2010年にかけて届出のあった89件のうち、感染時期の記載のあった届出71件について感染月別に集計したものです。ほとんどが10月から11月の間に感染しており、この時期は特に注意する必要があります。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2010年第38週(9月20日～9月26日)